

**研究事業 子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)に関する研究事業  
(エコチル調査コアセンター)**

**委員会からの主要意見**

現状についての評価・質問等

- 国際的にも大きなコホート研究であり、世界でも今までに類のない重要な調査である。
- 過去 10 年調査を続けてきており、これからその成果が解析されて、子供の健康に関する環境の提言ができるものと期待する。この成果は環境問題の解決にもつながり、環境行政にも大きく貢献できるものと思われる。

今後への期待など

- 4 期、5 期を越えて長期的な調査は国立環境研究所でしかできない事業であり、5 期の目標、計画を着実に実施されるようお願いしたい。
- この研究は、年代を重ねながら繰り返すべきである。可能であれば調査を現状の 13 歳を超えて成人まで継続することで、さらなる成果が得られるものと期待できる。
- 第 4 期までの実績と反省(もしあれば)の上に、第 5 期計画としての位置づけをしていただきたい。
- コアセンターで蓄積したデータを精査し、どのような研究が必要であるかの提言、もしくはコアセンターとしての研究も、可能であれば考えていただきたい。

**主要意見に対する国環研の考え方**

- ①13 歳以降の計画につきましては、環境省と連携して検討して参ります。高追跡率を確保するための参加者とのコミュニケーション方法の検討を含め、調査対象者の確実な追跡を実施するための手段を検討し、実施します。
- ②エコチル調査の評価につきましては、環境省が設置する企画評価委員会で進めております。平成 26 年度に第二次中間報告書が報告され、平成 30 年度に第三次中間評価書が報告されております(<https://www.env.go.jp/chemi/ceh/3rd-interim-report.pdf>)。エコチル調査で収集したデータについては、第 5 期から外部研究者に共有し、さらに成果を拡大します。それらの成果の活用については、環境省をサポートいたします。
- ③コアセンターでは、外部研究機関・研究者と共同した先端的な研究(乳歯分析、オミックス、体内動態など)や、独自の研究(イメージング質量分析など)を実施しております。AI を用いたデータ解析なども順次提案していきます。